

平成 29 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	NPO 法人 大阪ライフサポート協会
活動テーマ	障害者向けの心肺蘇生法と応急手当の開発と普及

基調講演「誰かの不便を、みんなの便利に～より多くの人が利用しやすいAEDに向けて」



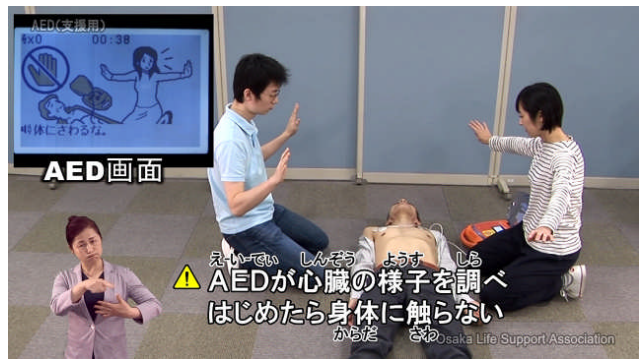
プレゼンテーションでは、視覚障がいをお持ちの方が見やすい工夫（黒バック、白または黄の大文字）



肢体不自由者な方が自ら行う心肺蘇生の指導法を講習実演形式で紹介



動画教材では、聴覚障がいをお持ちの方が理解しやすい工夫（手話、平易な言葉、ルビ、大きな動作）



1. 障がいをお持ちの方が自ら行う心肺蘇生と応急手当の手法とその指導法を開発・普及し、様々なリスクに晒されている障がい者の方々の「共助」に役立てると共に社会参加を促して参りたいと考えています。
2. 2020年の東京パラリンピックを最終ターゲットに5期に分けて事業を進めています。本年度はその第2期として、聴覚障がい、視覚障がいに加えて、肢体不自由な方向への講習手法の開発に取り組みました。

<具体的取り組み内容>

(1) プロジェクトによる講習教材・手法の開発

PJ会議を9回開催し、聴覚障がい者向け講習手法と指導法の改善および動画教材の制作、視覚障がい者向け講習手法と指導法の改善、肢体不自由な方向への心肺蘇生法の講習手法と指導法の開発に取り組みました。

(2) 各種支援学校・障がい者支援施設等での講習の実践

- ①大阪府立中央聴覚支援学校（生徒：27名）
- ②大阪発達総合療育センター（肢体不自由者：5名）
- ③大阪府立すながわ高等支援学校（講習をサポート）
- ④一般の視覚障がい者対象（視覚障がい者：10名）
- ⑤大阪発達総合療育センター（肢体不自由者：14名）
- ⑥枚方市社会福祉協議会（知的障がい者：37名）

(3) 市民公開セミナー「すべての人ができる！心肺蘇生～障がいがあってもできることがある～」を開催

・日時：3月25日（日）13時～17時 場所：大阪国際交流センター 参加者：96名

・公益財団法人 共用品推進機構 専務理事の星川安之氏による基調講演「誰かの不便を、みんなの便利に～より多くの人が利用しやすいAEDに向けて」と本プロジェクトの活動報告を実施。第二部として肢体不自由者な方が自ら行う心肺蘇生の指導法を紹介。